

右折するときには 焦らない

右折するときには、できるだけ一時停止しましょう。そして、焦らずひと呼吸。冷静に状況を判断しましょう。

また、焦って先に割り込んだりせず、相手に譲る優しい気持ちで運転をお願いします。

運転に 全集中

人間誰も他のことに気が取られることはあります。また、急いでいる、漫然と運転しているなど、ドライバーの心理状態は様々です。しかし、万が一、大きな事故を起こしてしまえば、相手の人生はもちろん、残された家族や自身の家族…本当に多くの人の日常を一瞬で奪うことになるのです。運転に全集中してください。

右折のときは ひと呼吸

右折時に多い交通事故パターン

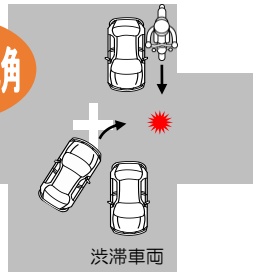
右折車と直進車の交通事故

いけるだろう…
判断誤り



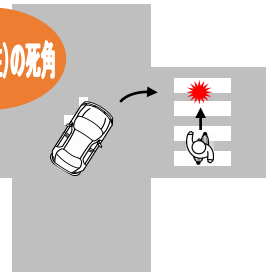
右折車と直進二輪車の交通事故

対向車の死角



右折車と歩行者の交通事故

ピラー(窓柱)の死角

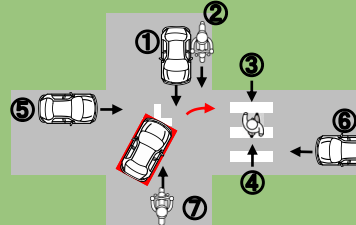


車の安全性を高め、ドライバーを守る重要な役割を果たしているこの「窓柱」ですが、一方で、ドライバーの視界を遮り（ドライバーには遮られている感覚がない）、自分のすぐ近くを通る人・モノを見落とさせる試練をドライバーに突きつけます。見える位置に頭を動かし、しっかりと窓柱の向こうにある景色を自分の目で確認しましょう。

自動車の窓柱（ピラー）とは、ボディとルーフを繋ぐ、フロントガラスの左右等にある「柱」のことです。



窓柱を甘くみらな 式ノ型



- ① 対向車
- ② 対向車の陰に隠れた二輪や自転車
- ③ 前から渡る横断歩行者
- ④ 後ろから渡る横断歩行者
- ⑤ 左から走ってくる車両
- ⑥ 右から走ってくる車両
- ⑦ 追い抜いてくる二輪車

右折は安全確認するべき箇所が最も多くあります。全ての方位をもれなく確認して安全が確認できたら右折をしましょう。

窓ノ型 全方位の安全確認

ハンドルを握るあなたの手は人を護れますか。

京都府警察